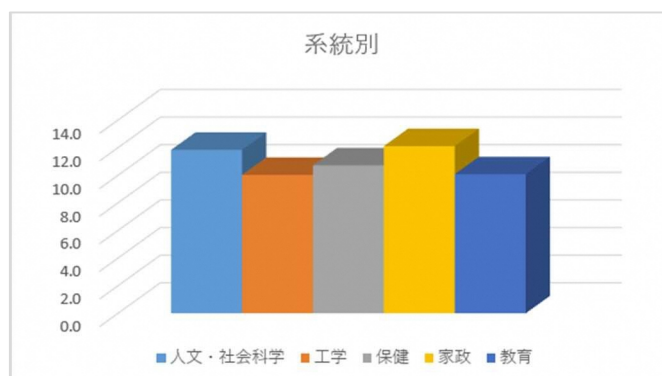


【系統別：56項目合計点の平均】

人文・社会科学系の学部・学科等	11.8点
工学系の学部・学科等	10.0点
保健系の学部・学科等	10.7点
家政の学部・学科等	12.1点
教育の学部・学科等（スポーツ、保育、子ども等）	10.1点

学部・学科等の系統別では、心身の不適応に対する自覚症状が最も高いのは「家政系」の12.1点、次いで「人文・社会学系」の11.8点である。一方、「工学系」は10.0点、「教育系」は10.1点と低い傾向にある。

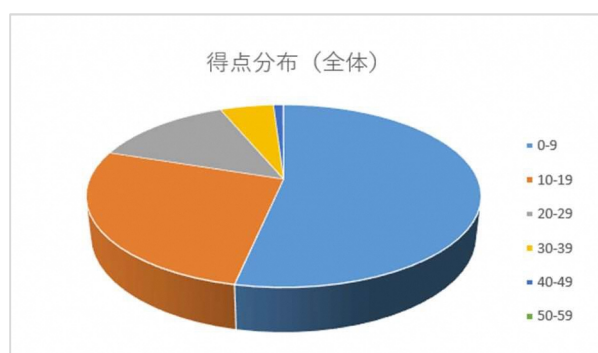


② 得点分布

56項目の得点分布は、全体で見ると、10点未満が2,734人(53.3%)、10～19点が1,374人(26.8%)、20～29点が701人(13.7%)、30～39点が268人(5.2%)、40～49点が48人(0.9%)、50点以上が3人(0.1%)であった。

なお、合計得点が30点以上にのぼる学生は、全回答者の6.2%にあたる319人であった。合計得点30点以上の者は、呼び出し面接等のスクリーニング対象者とされる場合が多い※。

※喜田裕子・高木茂子 2001 学生相談から見た大学生のメンタルヘルスと心の教育 人文社会学部紀要VOL.1 155-166

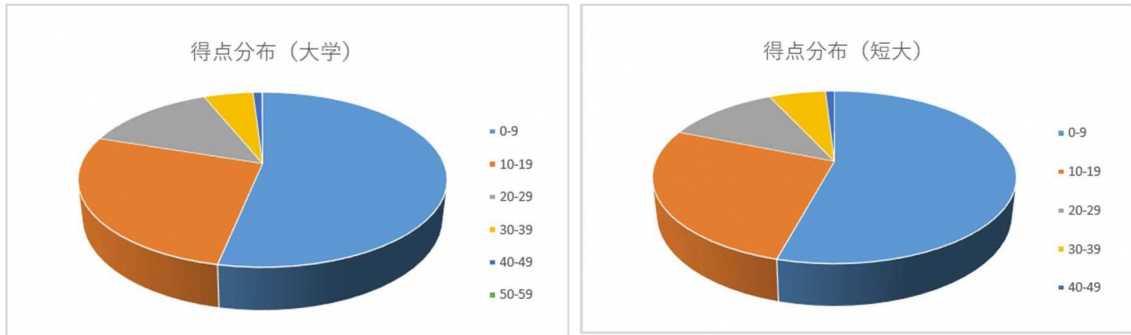


【大学・短期大学別：得点分布】

大学生全体では、10点未満が2,562人(53.3%)、10～19点が1,289人(26.8%)、20～29点が663人(13.8%)、30～39点が249人(5.2%)、40～49点が45人(0.9%)、50点以上が3人(0.1%)であった。

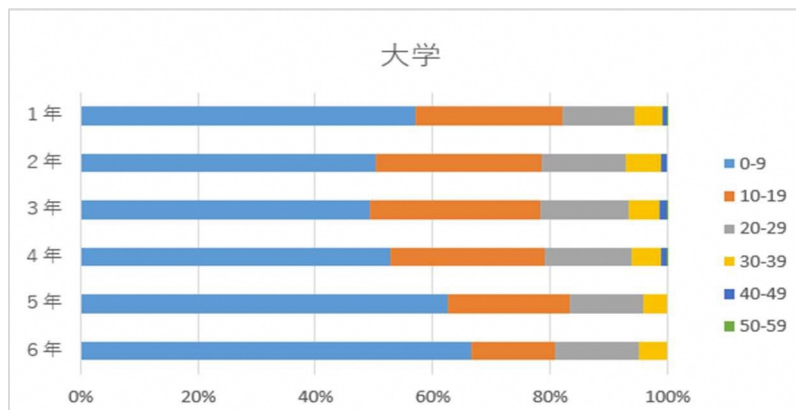
短期大学生全体は、10点未満が172人(54.3%)、10～19点が85人(26.8%)、20

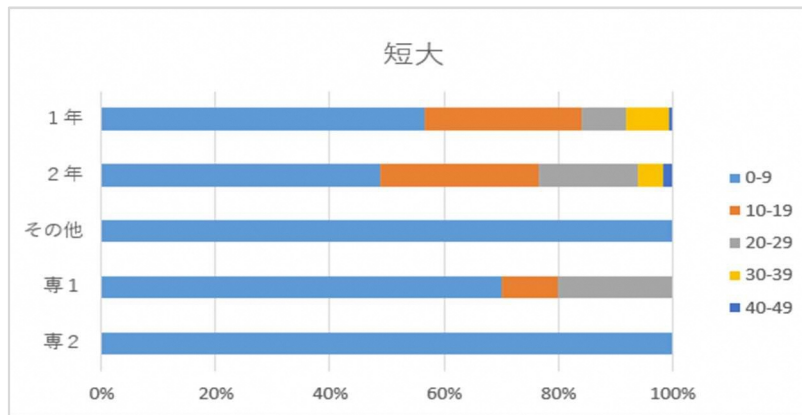
～29点が38人（12.0%）、30～39点が19人（6.0%）、40～49点が3人（0.9%）、50点以上が0人（0.0%）であった。



得点分布率から大学、短期大学のいずれの学年にも共通してみられる傾向としては、心身の不適応に対する自覚症状が比較的低い10点未満が最も多い。また、点数が高くなるにつれ、その人数は減少している。

		10点未満	10-19点	20-29点	30-39点	40-49点	50点以上	30点以上	
			人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
大学	1年	1,084人	477人	236人	87人	16人	1人	104人	
		57.0%	25.1%	12.4%	4.6%	0.9%	0%	5.5%	
	2年	609人	343人	172人	74人	13人	0人	87人	
		50.3%	28.3%	14.2%	6.1%	1.1%	0%	7.2%	
	3年	460人	272人	141人	50人	10人	1人	61人	
		49.3%	29.1%	15.1%	5.4%	1.1%	0%	6.5%	
	4年	380人	189人	108人	36人	6人	1人	43人	
		52.8%	26.3%	15.0%	5.0%	0.8%	0.1%	5.9%	
	5年	15人	5人	3人	1人	0人	0人	1人	
		62.5%	20.8%	12.5%	4.2%	0%	0%	4.2%	
	6年	14人	3人	3人	1人	0人	0人	1人	
		66.7%	14.3%	14.3%	4.8%	0%	0%	4.8%	
	短期大学	1年	97人	47人	13人	13人	1人	0人	14人
			56.7%	27.5%	7.6%	7.6%	0.6%	0%	8.2%
2年		65人	37人	23人	6人	2人	0人	8人	
		48.9%	27.8%	17.3%	4.5%	1.5%	0%	6%	
その他		2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
専1		7人	1人	2人	0人	0人	0人	0人	
		70.0%	10.0%	20.0%	0%	0%	0%	0%	
専2		1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	



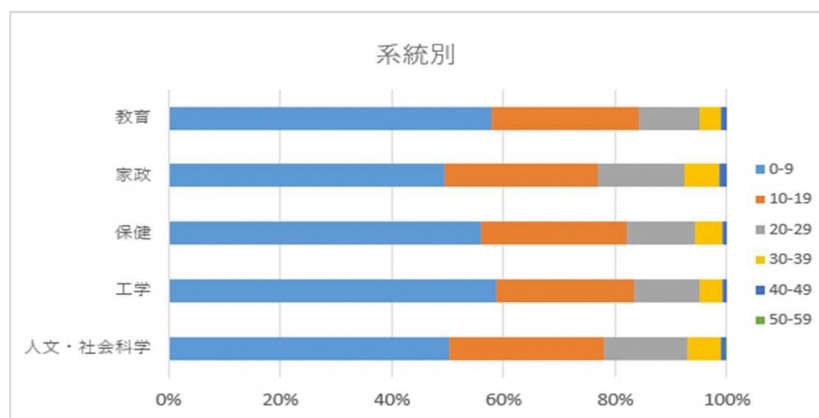


【系統別：得点分布】

学部・学科等の系統別では、心身の不適応に対する自覚症状が比較的低い10点未満の層が半数以上を占め、「工学系」で58.8%、「教育系」で57.9%、「保健系」で55.9%、「人文・社会科学系」で50.2%、「家政系」で49.5%となっている。

また、全ての系統で10-19点の層がおよそ1/4を占めるなど、系統に関わらず同様の傾向がみられる。

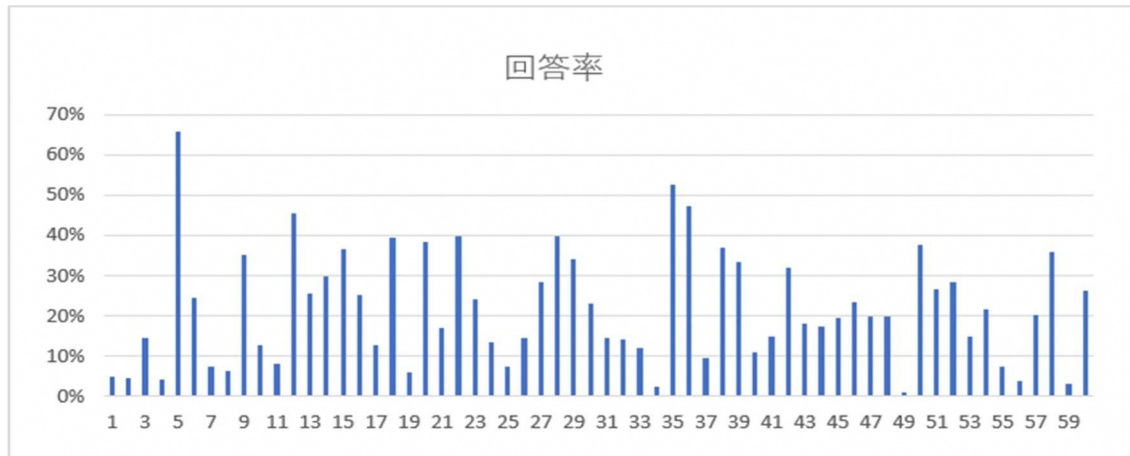
	10点未満	10-19点	20-29点	30-39点	40-49点	50点以上	30点以上
人文・社会科学系の学部・学科等	1,297人	716人	388人	152人	26人	3人	181人
	50.2%	27.7%	15.0%	5.9%	1.0%	0.1%	7.0%
工学系の学部・学科等	616人	260人	121人	44人	7人	0人	51人
	58.8%	24.8%	11.5%	4.2%	0.7%	0%	4.9%
保健系の学部・学科等	383人	179人	85人	32人	6人	0人	38人
	55.9%	26.1%	12.4%	4.7%	0.9%	0%	5.6%
家政系の学部・学科等	192人	107人	60人	24人	5人	0人	29人
	49.5%	27.6%	15.5%	6.2%	1.3%	0%	7.5%
教育系の学部・学科等	246人	112人	47人	16人	4人	0人	20人
	57.9%	26.4%	11.1%	3.8%	0.9%	0%	4.7%



③ 各項目の選択率

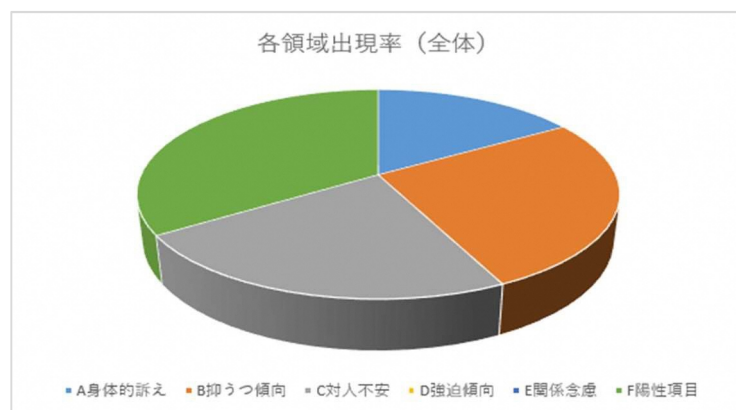
60項目について、「はい」と回答した者の多かった項目を調べると、上位10項目はNo.5「いつも体の調子が良い」が3,375人(65.9%)、No.35「気分が明るい」が2,695人(52.6%)、No.36「なんとなく不安である」が2,428人(47.4%)、No.12「やる気が出てこない」が2,331人(45.5%)、No.22「気疲れする」が2,034人(39.7%)、No.28「根気が続かない」が2,030人(39.6%)、No.18「首筋や肩がこる」が2,012人(39.3%)、No.20「いつも活動的である」が1,973人(38.5%)、No.50「よく他人に好かれる」が1,927人(37.6%)、No.38「ものごとに自信がもてない」が1,897人(37.0%)であった。

陽性項目4項目(No.5, 20, 35, 50)が、すべて含まれる結果となった。



④ 上位10項目における各領域の出現率

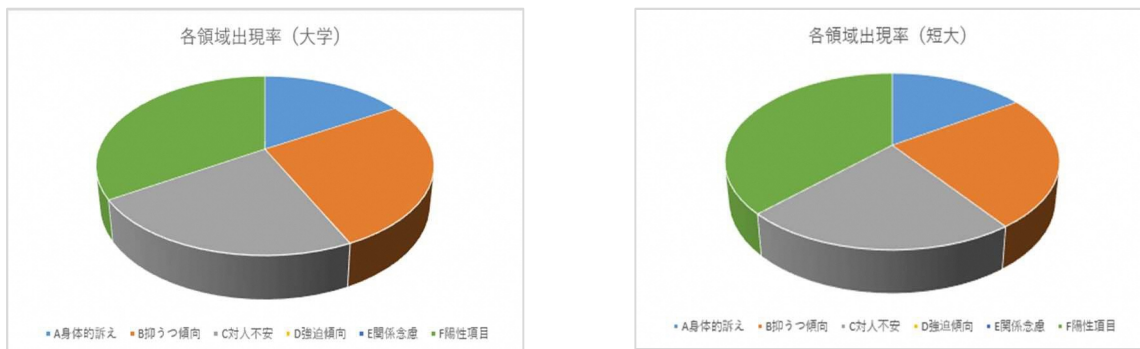
「はい」と回答した学生が多かった上位10項目における各領域(A 身体的訴え、B 抑うつ傾向、C 対人不安、D 強迫傾向、E 関係念慮、F 陽性項目)の出現率を調べてみると、F(陽性項目)が4,206人(34.1%)、B(抑うつ傾向)が3,267人(26.5%)、C(対人不安)が2,845人(23.1%)、A(身体的訴え)が2,012人(16.3%)、D(強迫傾向)、E(関係念慮)がともに0人(0%)であった。



【大学・短期大学別：各領域の出現率】

大学生全体では、F(陽性項目)が3,924人(33.9%)、B(抑うつ傾向)が3,083人(26.6%)、C(対人不安)が2,675人(23.1%)、A(身体的訴え)が1,894人(16.4%)、D(強迫傾向)、E(関係念慮)がともに0人(0%)であった。

短期大学生は、F(陽性項目)が282人(37.4%)、B(抑うつ傾向)が184人(24.4%)、C(対人不安)が170人(22.6%)、A(身体的訴え)が118人(15.6%)、D(強迫傾向)、E(関係念慮)がともに0人(0%)であった。



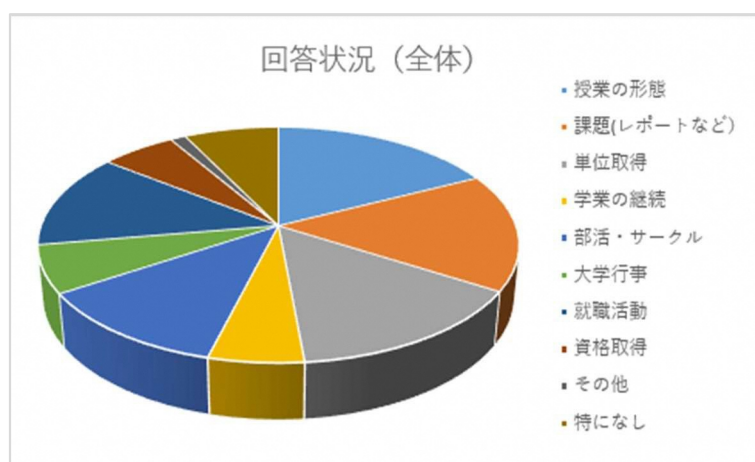
(2) 北九州市の独自質問 (3問)

UPI項目に加え、学生生活におけるコロナの影響に関する質問を3問行った。

① 学業・就職活動等に関する質問

「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行う中、学業・就職活動等に関することで不安なことや困ったことを教えてください(複数回答可)」という質問と、これに対する10項目の選択肢を示した。

全回答者5,128人に対する回答状況は、「授業の形態に関すること」が2,222人(43.3%)、「課題(レポート等)に関すること」が2,035人(39.7%)、「単位取得に関すること」が1,851人(36.1%)、「就職活動・インターンシップ」が1,643人(32.0%)、「部活・サークル・その他の課外活動」が1,490人(29.1%)、「特になし」が934人(18.2%)、「大学行事の開催」が823人(16.0%)、「資格取得」が742人(14.5%)、「学業の継続に関すること」が695人(13.6%)、「その他」が154人(3.0%)であった。

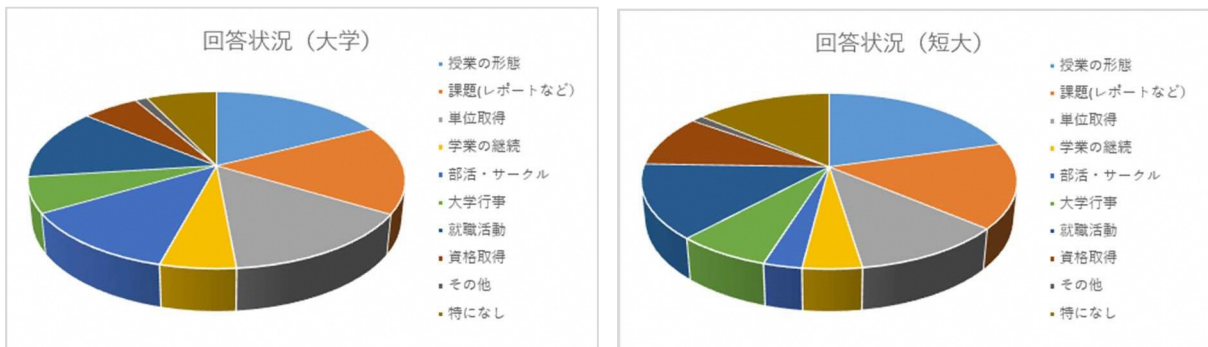


【大学・短期大学別：回答状況】

大学生の全回答者4,811人に対する回答状況は、「授業の形態に関すること」が2,086人(43.4%)、「課題(レポート等)に関すること」が1,931人(40.1%)、「単位取得に関すること」が1,776人(36.9%)、「就職活動・インターンシップ」が1,552人(32.3%)、「部活・サークル・その他の課外活動」が1,471人(30.6%)、「特になし」が843人

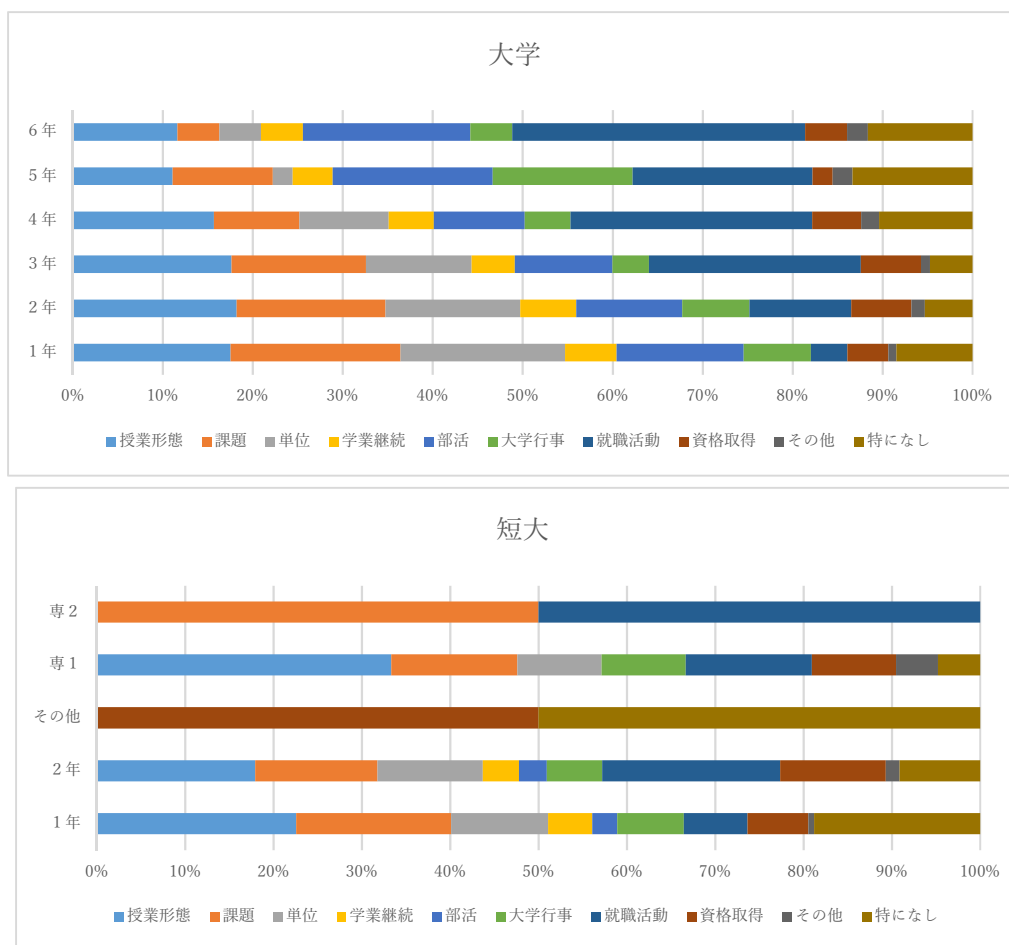
(17.5%)、「大学行事の開催」が 777 人 (16.2%)、「資格取得」が 679 人 (14.1%)、「学業の継続に関すること」が 666 人 (13.8%)、「その他」が 146 人 (3.0%) であった。

短期大学生 317 人に対する回答状況は、「授業の形態に関すること」が 136 人 (42.9%)、「課題 (レポート等) に関すること」が 104 人 (32.8%)、「就職活動・インターンシップ」が 91 人 (28.7%)、「特になし」が 91 人 (28.7%)、「単位取得に関すること」が 75 人 (23.7%)、「資格取得」が 63 人 (19.9%)、「大学行事の開催」が 46 人 (14.5%)、「学業の継続に関すること」が 29 人 (9.1%)、「部活・サークル・その他の課外活動」が 19 人 (6.0%)、「その他」が 8 人 (2.5%) であった。



		授業形態	課題	単位	学業継続	部活	大学行事	就職活動	資格取得	その他	特になし
		1年	801人 17.6%	861人 18.9%	836人 18.3%	260人 5.7%	645人 14.1%	341人 7.5%	186人 4.1%	208人 4.6%	40人 0.9%
2年	622人 18.2%	565人 16.5%	511人 15.0%	213人 6.2%	402人 11.8%	255人 7.5%	386人 11.3%	228人 6.7%	51人 1.5%	181人 5.3%	
	425人 17.6%	360人 15.0%	282人 11.7%	116人 4.8%	261人 10.8%	98人 4.1%	567人 23.5%	161人 6.7%	24人 1.0%	114人 4.7%	
4年	228人 15.7%	138人 9.5%	144人 9.9%	73人 5.0%	147人 10.1%	74人 5.1%	390人 26.8%	79人 5.4%	29人 2.0%	151人 10.4%	
	5人 11.1%	5人 11.1%	1人 2.2%	2人 4.4%	8人 17.8%	7人 15.6%	9人 20.0%	1人 2.2%	1人 2.2%	6人 13.3%	
6年	5人 11.6%	2人 4.7%	2人 4.7%	2人 4.7%	8人 18.6%	2人 4.7%	14人 32.6%	2人 4.7%	1人 2.3%	5人 11.6%	

		授業形態	課題	単位	学業継続	部活	大学行事	就職活動	資格取得	その他	特になし
		1年	72人 22.6%	56人 17.6%	35人 11.0%	16人 5.0%	9人 2.8%	24人 7.5%	23人 7.2%	22人 6.9%	2人 0.6%
2年	57人 17.9%	44人 13.8%	38人 11.9%	13人 4.1%	10人 3.1%	20人 6.3%	64人 20.1%	38人 11.9%	5人 1.6%	29人 9.1%	
	その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 50.0%	0人 0.0%	1人 50.0%
専1	7人 33.3%	3人 14.3%	2人 9.5%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 9.5%	3人 14.3%	2人 9.5%	1人 4.8%	1人 4.8%	
	専2	0人 0.0%	1人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%



【系統別：回答状況】

学部・学科等の系統別では、「教育系」の26.0%、及び「家政系」の24.8%が「授業の形態に関すること」に不安等を感じており、「工学系」の14.2%、及び「保健系」の14.9%と比較して10%以上高い割合となっている。

また、「就職活動・インターンシップ」については、「人文・社会科学系」の15.7%が不安等を感じている一方、「保健系」では6.5%にとどまっている。

なお、自由記述回答では、対面授業による感染への不安及び留学に関する不安等が比較的多くみられた。

	授業形態	課題	単位	学業継続	部活	大学行事	就職活動	資格取得	その他	特になし
人文・社会科学系の学部・学科等	1,162人 17.5%	1,054人 15.9%	962人 14.5%	369人 5.6%	749人 11.3%	387人 5.8%	1,038人 15.7%	410人 6.2%	97人 1.5%	401人 6.0%
工学系の学部・学科等	368人 14.2%	452人 17.4%	433人 16.7%	142人 5.5%	342人 13.2%	185人 7.1%	331人 12.7%	113人 4.3%	21人 0.8%	213人 8.2%
保健系の学部・学科等	228人 14.9%	241人 15.7%	236人 15.4%	89人 5.8%	236人 15.4%	143人 9.3%	99人 6.5%	72人 4.7%	16人 1.0%	173人 11.3%
家政系の学部・学科等	227人 24.8%	142人 15.5%	113人 12.3%	52人 5.7%	80人 8.7%	66人 7.2%	89人 9.7%	76人 8.3%	6人 0.7%	66人 7.2%
教育系の学部・学科等	237人 26.0%	146人 16.0%	107人 11.8%	43人 4.7%	83人 9.1%	42人 4.6%	86人 9.5%	71人 7.8%	14人 1.5%	81人 8.9%